

子ども・子育て会議資料

(保育所等・放課後児童クラブ関係)

平成28年7月14日

2 平成28年度施設等利用状況について

①平成28年7月 教育・保育施設利用状況

平成28年7月1日現在

施設	施設数	利用定員	入所者数	入所率
保育所 認定こども園（保育部）	13（1）	1,345名	1,439名	107%
小規模保育事業 事業所内保育事業	4	41名	26名	63%
幼稚園 認定こども園（幼稚部）	17（1）	2,285名	1,016名	—

※小規模保育事業33名と

事業所内保育は地域枠定員8名で計上しています。

※入所者数には、市外施設利用者は含みません。

待機児童 16名 園限定 23名
月指定者 32名 （7月1日現在）

②幼稚園預かり保育利用状況（通年利用者）

	平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	3歳児	4歳児	5歳児
総社幼稚園	1	6	4	2	5	4	7
常盤幼稚園	8	8	4	13	6	9	11
総社北幼稚園	1	5	3	2	1	4	6
井尻野幼稚園	5	2	4	6	3	7	7
山手幼稚園	7	12	2	6	0	2	3
総社南幼稚園	—	—	—	—	1	2	3
服部幼稚園	—	—	—	—	7	5	0
久代幼稚園	—	—	—	—	0	2	4
小計	22	33	17	29	23	35	41
計	55		46		99		

※平成26・27年度は平均通年利用児童数です。

※平成28年度は7月利用児童数実績です。

③制度改正

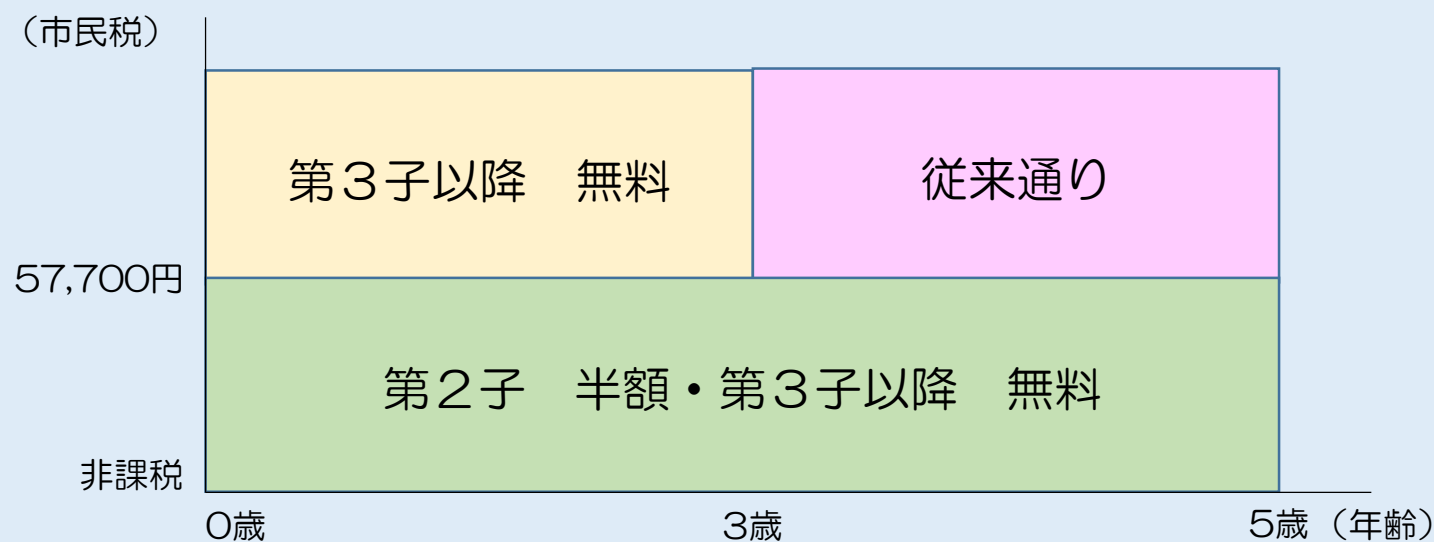
育児休業取得時の保育所等継続利用

- 育児休業による保育所退園を撤廃
- 育児休業取得後も継続して保育所利用希望者は利用可能

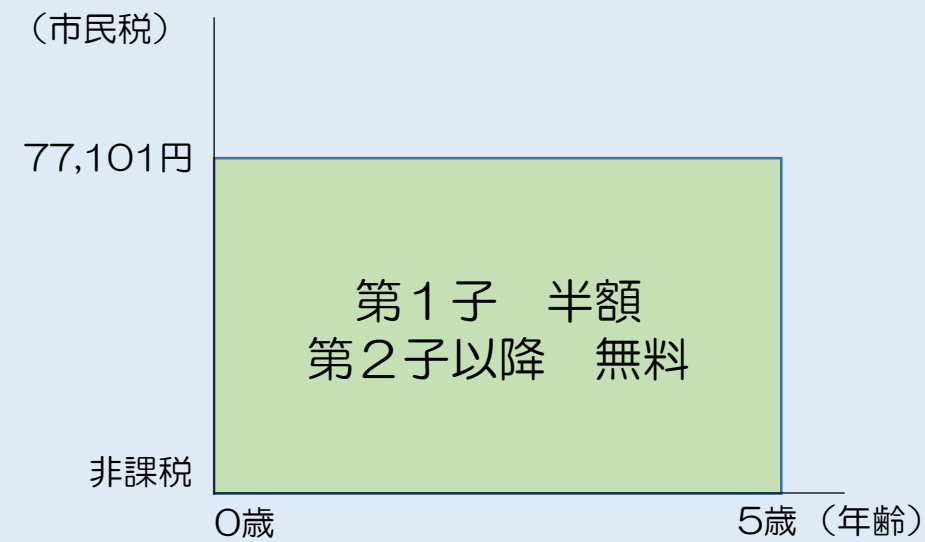
利用者
26名
(7月1日現在)

第3子以降保育料無料化制度等

- 保育に係る利用負担軽減制度



- ひとり親世帯等利用者負担軽減



④保育の量の見込み

(1) 保育に係る利用量見込み

	平成27年度 (実績)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
2号認定	916	920	914	895	905
3号認定	723	794	821	822	821

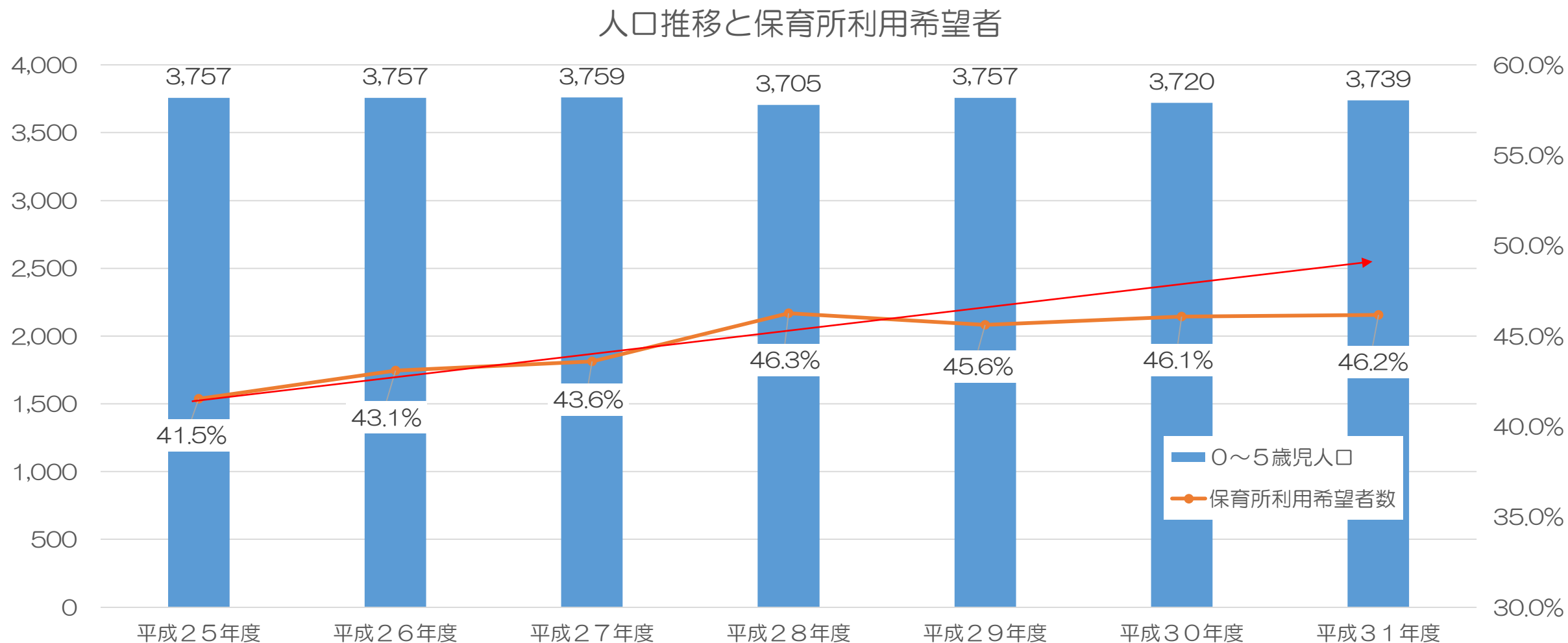
(2) 保育に係る供給量

	平成27年度 (実績)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
保育希望者	1,639	1,714	1,735	1,717	1,726
保育定員	1,345	1,386	1,506	1,506	1,506
入所予測	1,559 (116%)	1,628 (118%)	1,735 (115%)	1,717 (114%)	1,726 (115%)
需給差	-80	-86	0	0	0

小規模・事業所内41名

新設・定員増 120名

⑤人口推移と保育所利用希望者



- 保育利用希望者は平成28年度までは実績率、平成29年度以降は予測率を使用しています。
- 平成29年度以降の数値は、2号認定者は過去3年間の対人口比認定率、3号認定者は平成28年度の対人口比認定率を使用しています。
- 第3子無料化事業の実施など、保育所が利用しやすくなることによる利用希望者増は見込んでいないため、変動することが考えられます。

3 平成29年度に向けた保育確保方策について

新設保育所	事業者	社会福祉法人 経山会	確保量 120名
	場 所	総社市井手地内	
	定 員	90名	
	開 所	平成29年4月1日予定	
保育所定員増	事業者	社会福祉法人 吉備のくに福社会	
	定 員	90名 ⇒ 120名	
	開 所	平成29年4月1日予定	

幼保連携型認定こども園の推進

内 容	総社保育所と井尻野幼稚園を統合し、認定こども園へ移行
開 所	平成31年度予定

4 放課後児童クラブの状況について

①利用定員と利用者数（各年4月1日現在）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用定員	590人	590人	600人	620人
利用者数	528人	533人	575人	599人
うち 1年生	178人	196人	209人	214人
2年生	159人	152人	178人	184人
3年生	129人	117人	133人	150人
4年生以上	62人	68人	55人	51人

②待機児童の状況（平成28年4月1日）

	常盤小学校区	山手小学校区
待機児童数（3年生以下）	12人	13人

③平成28年度 待機児童対応策

（ア）広域利用制度の継続

- ・定員超過クラブから定員割クラブを利用できる制度（広域利用制度）実施
- ・広域利用に伴う送迎サービス（雪舟くん利用）実施

利用者3名

（イ）長期休業日児童クラブの実施

- ・平成28年度より，定員超過が見込まれる小学校区の児童を対象に実施
- ・夏休み，冬休み，春休みに開所
- ・総社北小学校の余裕教室を利用し実施

利用者31名

④今後の状況

(ア) 待機児童発生が見込まれる小学校区別クラブ利用者（1～3年生）の推移

	総社小学校区 (100名)	総社中央小学校区 (50名)	常盤小学校区 (100名)	総社東小学校区 (50名)	山手小学校区 (50名)
平成23年4月	79 (21.5%)	56 (27.5%)	85 (22.0%)	47 (34.8%)	43 (28.7%)
平成24年4月	71 (19.6%)	58 (27.5%)	85 (22.3%)	46 (32.2%)	40 (25.3%)
平成25年4月	78 (20.9%)	52 (25.2%)	85 (21.5%)	41 (34.7%)	43 (26.1%)
平成26年4月	85 (21.9%)	38 (18.4%)	97 (23.3%)	50 (37.6%)	42 (24.6%)
平成27年4月	93 (24.7%)	54 (26.6%)	92 (22.6%)	44 (31.4%)	50 (25.5%)
平成28年4月	112 (29.4%)	56 (28.8%)	117 (28.9%)	53 (33.2%)	64 (30.4%)

※（ ）内は小学校1～3年生の児童数に対する利用者数の割合です。

※平成28年4月の数値のみ長期休業中のクラブ利用者、広域利用者及び待機児童を含んでいます。

(イ) 待機児童発生が見込まれる小学校区別児童数（1～3年生）の推計

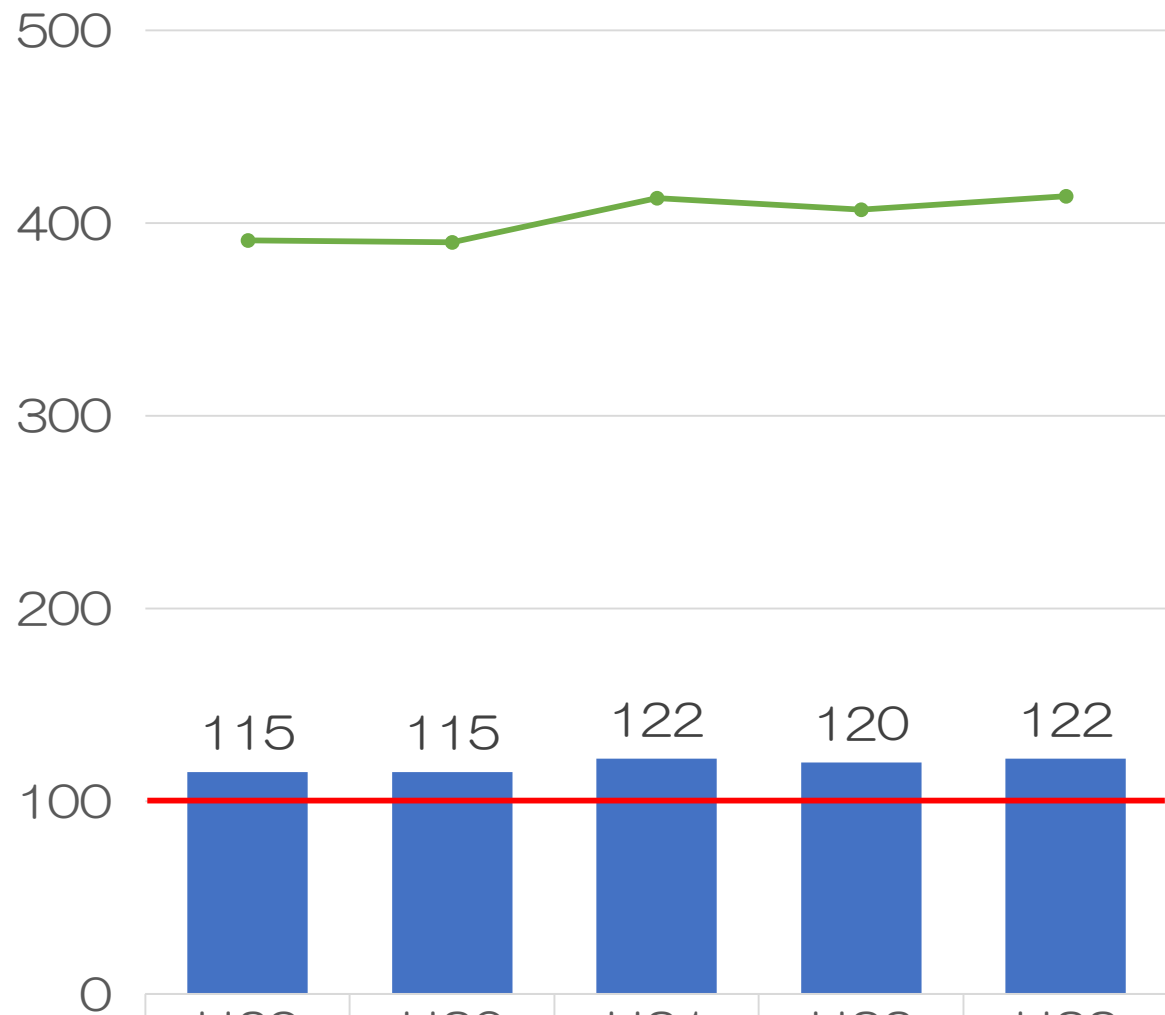
		総社小学校区	総社中央小学校区	常盤小学校区	総社東小学校区	山手小学校区
平成29年度	児童数	391	211	411	161	215
	希望推計	115	61	119	54	66
平成30年度	児童数	390	207	409	161	219
	希望推計	115	60	119	54	67
平成31年度	児童数	413	206	423	168	202
	希望推計	122	60	123	56	62
平成32年度	児童数	407	201	434	167	210
	希望推計	120	58	126	56	64
平成33年度	児童数	414	199	423	173	207
	希望推計	122	58	123	58	63

※ 児童数は、平成22～28年の各小学校区の住民基本台帳に基づく人口をもとに、出生や死亡、転出入等の極端な数値を除いて算出しています。

※ 今後の大きなマンション建設等による増加などは見込んでいないため、学区により児童数は変動することが考えられます。

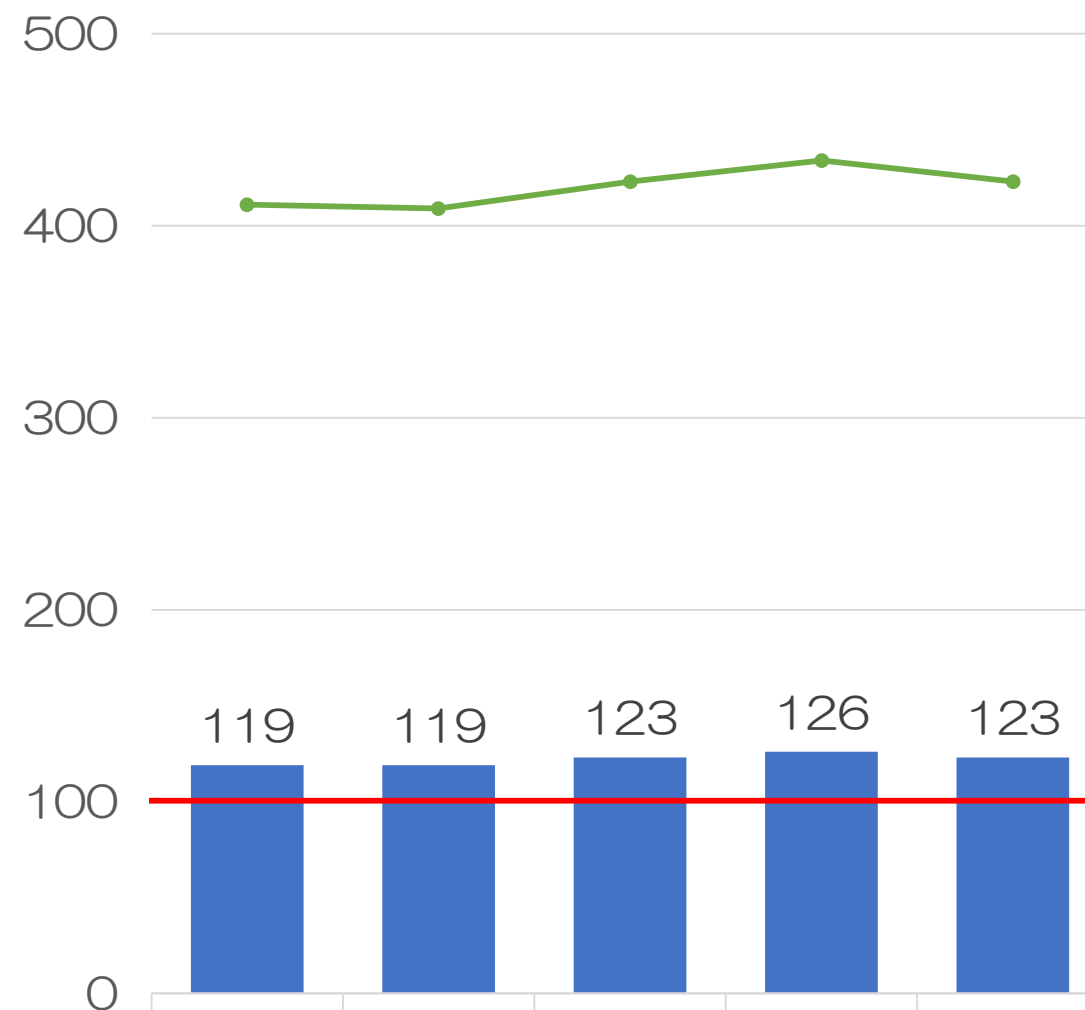
(イ) 待機児童発生が見込まれる小学校区別児童数（1～3年生）の推計

総社小学校区



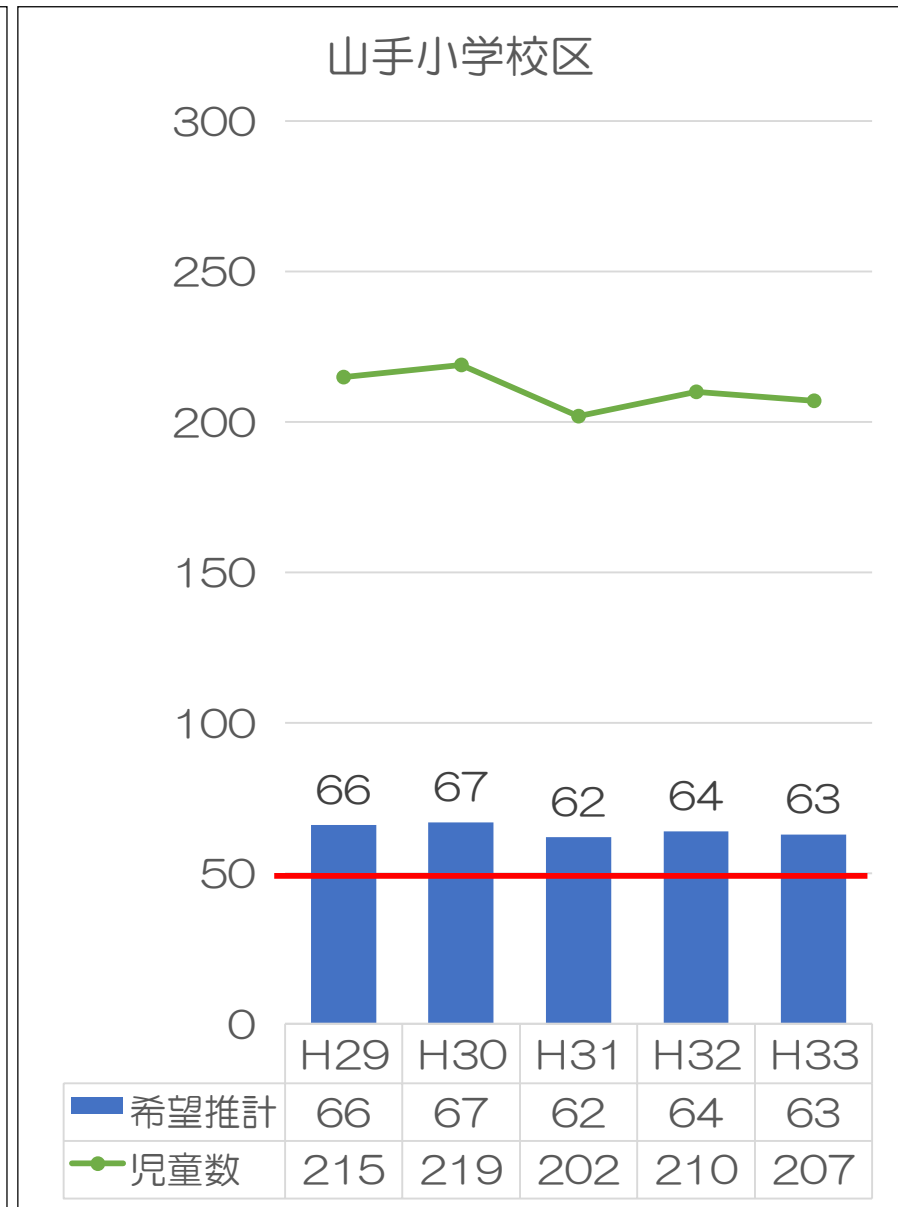
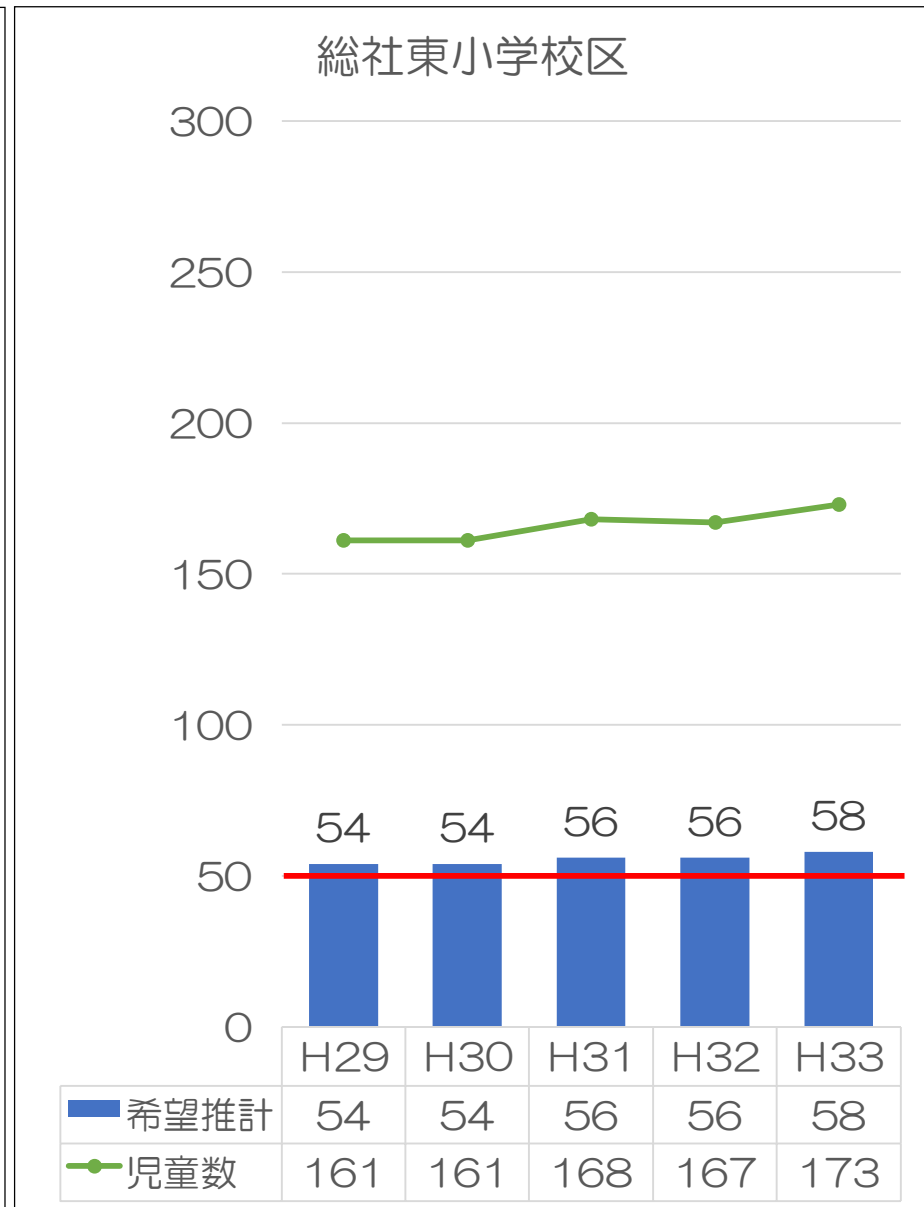
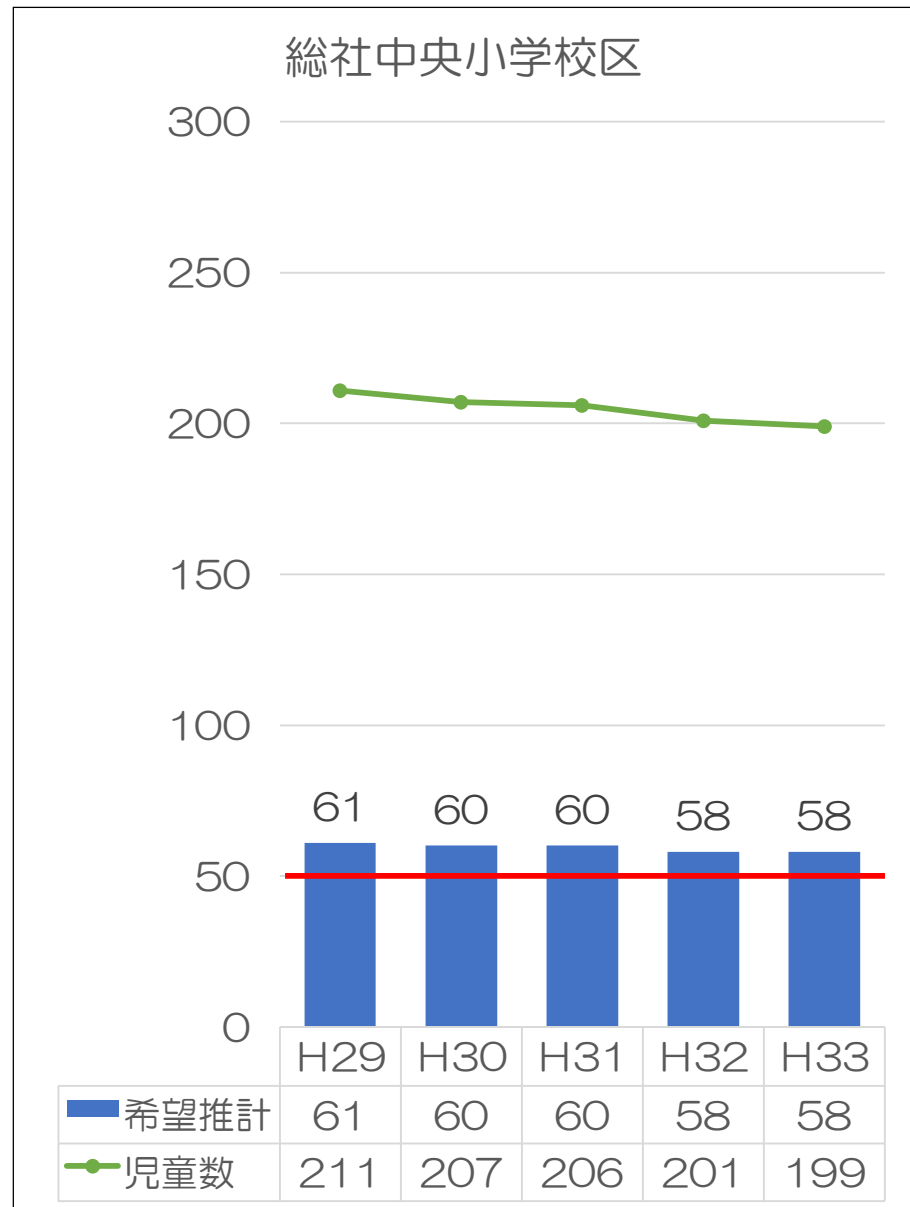
希望推計	115	115	122	120	122
児童数	391	390	413	407	414

常盤小学校区



希望推計	119	119	123	126	123
児童数	411	409	423	434	423

(イ) 待機児童発生が見込まれる小学校区別児童数（1～3年生）の推計



⑤今後の基本方針

1. 低学年（3年生以下）の待機児童を早急に解消する。
2. 高学年（4年生以上）については、放課後子ども教室の利用や広域利用などで対応
3. 利用者増による施設整備は、①余裕教室 ②空き施設 ③新設,増設の順番で検討
4. 放課後児童クラブの今後の基本方針については、本市のファシリティマネジメントに基づいた施設整備計画を含めて策定する。

⑥平成29年度以降確保方策（案）

	総社小学校区	総社中央 小学校区	常盤小学校区	総社東 小学校区	山手小学校区
不足見込み量	22名	11名	26名	8名	17名
対応策	<p>民間施設等を活用した確保方策を検討</p> <p>放課後子ども教室の活用</p> <p>小学校敷地内に新設</p>	<p>広域利用にて対応</p>	<p>小学校教室増設に伴う 余裕施設の活用等 を検討</p>	<p>小学校余裕教室の活用</p>	<p>既存公共施設の活用 を検討</p>